

平成 30 年度

長野県公共事業事後評価について

平成 31 年 1 月

長野県公共事業評価監視委員会

目 次

1	本年度の審議対象事業の考え方	・・・	1			
2	審議結果（意見書）のとりまとめ方	・・・	2			
3	事後評価事業に関する委員会としての意見	・・・	3			
(1)	治山	社	【大町市】	・・・	3	
(2)	道路改築	(国) 143号	岡田拡幅	【松本市】	・・・	3
(3)	交通安全施設等整備	(国) 144号	住吉	【上田市】	・・・	4
(4)	抽出以外の箇所				・・・	4
4	おわりに	・・・	5			

平成 30 年度 長野県公共事業評価監視委員会 意見書

～公共事業事後評価に関する意見～

1 本年度の審議対象事業の考え方

長野県公共事業評価実施要領では、事後評価にあたって長野県公共事業評価監視委員会（以下、「本委員会」という）から意見聴取を行う箇所は、県が評価を実施した箇所とされている。

本年度、県が事後評価を実施したのは、7 事業 10 箇所であった。（表－1）

本委員会の設置要綱では、審議案件について、県から事後評価案の提出を受け、各事業を取り巻く社会状況等を勘案して、本委員会が抽出するとされている。

本委員会では、県が評価を実施した 10 箇所（表－2）について説明を聞いたうえで、詳細な審議の対象として、以下の 3 箇所を抽出した。

- (1) 治山 社 【大町市】
- (2) 道路改築 (国) 143 号 岡田拡幅 【松本市】
- (3) 交通安全施設等整備 (国) 144 号 住吉 【上田市】

表－1 事業種類別の審議実施数（平成 26 年度～平成 30 年度）

単位：箇所

事業種類	H26		H27		H28		H29		H30	
	意見聴取	うち抽出	意見聴取	うち抽出	意見聴取	うち抽出	意見聴取	うち抽出	意見聴取	うち抽出
地すべり対策	1		2	1	1		2	1	2	
農村地域の防災・減災	1	1	1		1		1		1	
治山・砂防	2	1	2		3	1	2		2	1
河川の整備等	1		1	1	1		1	1	1	
主要な道路の整備	1	1	1		1		1		2	1
補完的な道路の整備	1		1		1		1		1	1
道路付帯施設の整備	1		2	1			1			
農業基盤整備	1		2		2	1	1	1	1	
森林整備					1	1				
公園の整備										
市町村道整備の支援										
その他										
合計	9	3	12	3	11	3	10	3	10	3

表－２ 平成 30 年度 事後評価実施箇所及び審議対象

単位：千円

資料番号	事業種類	事業名	市町村名	箇所名	事業概要	工期	最終事業費 (千円)	担当課	県の 自己 評価	審議 対象
1	地すべり対策	地すべり対策	小川村	しもきたお 下北尾	横ボーン工L=3,388m 吹付法砕工A=17,204㎡ アンカー工N=44本 水路工L=1,165m 杭工N=30本	H16～H24	682,160	砂防課	A	
2	地すべり対策	急傾斜地崩壊 対策	飯山市	くらもと 倉本	雪崩予防柵工 L=218.1m	H19～H24	239,744	砂防課	A	
3	農村地域の 防災・減災	県営農村 地域防災減災 (ため池整備)	東御市	かいげんじ 海善寺	ため池改修工 1箇所 (堤体工、取水施設工、 余水吐工)	H22～H24	43,000	農地整備課	A	
4	治山・砂防	治山	大町市	やしろ 社	谷止工 N=4基 流路工 L=360m 山腹工 A=1.46ha 森林整備 A=15.01ha	H19～H24	510,000	森林づくり 推進課	B	○
5	治山・砂防	治山	栄村	ひらたま 平滝	谷止工 N=4基 山腹工 A=0.1ha 森林整備 A=154ha	H19～H24	245,300	森林づくり 推進課	B	
6	河川の整備等	河川	伊那市	しもこいで 下小出	護岸工 L=190m 橋梁工 N=3橋 (内、1橋は水管橋)	H21～H24	150,000	河川課	A	
7	主要な道路 の整備	道路改築	松本市	(国)143号 おかたかびく 岡田拡幅	道路改築工 L=1,260m W=6.5m(12.5m)	H15～H24	1,609,000	道路建設課	A	○
8	主要な道路 の整備	道路改築	飯田市	しゅ いいだとみやま (主)飯田富山 まぐま せんよゆね 佐久間線 米峠	道路改築工 L=354m W=6.0m(8.0m) 橋梁工 L=150.5m	H19～H24	807,256	道路建設課	A	
9	道路付帯施設 の整備	交通安全 施設整備等	上田市	(国)144号 すみよし 住吉	歩道設置工 L=450m W=3.5m	H21～H26	281,579	道路管理課	A	○
10	農業基盤整備	県営 かんがい排水	伊那市 辰野町 南箕輪村	にしてんりゅう 西天竜	水路トンネル補強工 L=412m 開水路改修 L=102m	H20～H24	663,194	農地整備課	A	
審議箇所計										3

注)網掛け:抽出箇所

事業効果の発現状況等の評価項目を点数化し、その合計により評価

[100点満点 A:75点以上 B:74～50点 C:49点以下]

2 審議結果（意見書）のとりまとめ方

意見書のとりまとめにあたっては、県案に対する審議結果と評価の判断理由に加え、審議中にあったその他の意見を事業ごとに記載する。

3 事後評価事業に関する委員会としての意見

(1) 治山 社 【大町市】

■ 県案に対する審議結果：県の自己評価は妥当と判断する。

【判断に至った理由】

- 工事の施工により荒廃森林の復旧が図られ、また、山地災害防止機能が向上したことにより下流域の安全が確保されたこと。
- 工事を施工したことにより、防災機能の高い森林への誘導が図られ、地域住民も事業の必要性を十分に理解していること。

《審議上の意見》

- 工事完了後の施設の維持管理を地域との協働事業で対応している好事例である。
- 協働事業の実施にあたり、森林税活用等の可能性について検討されたい。

(2) 道路改築 (国) 143号 岡田拡幅 【松本市】

■ 県案に対する審議結果：県の自己評価は妥当と判断する。

【判断に至った理由】

- 工事の施工により国道 143 号の交通の利便性が向上したこと、交通の安全性が向上したこと。
- 地元住民から歩車道が分離され、安全・安心が図られたことについて高い評価を受けていること。

《審議上の意見》

- 事業実施時における事業内容の情報発信や事業実施後の整備効果のPRにより、地域住民の理解促進が図られている。
- 同種事業などの新規事業計画時に今回の事例を活用されたい。

(3) 交通安全施設等整備 (国) 144号 住吉 【上田市】

■ 県案に対する審議結果：県の自己評価は妥当と判断する。

【判断に至った理由】

- 工事の施工により歩道設置後の事故はゼロであり、安全な通行が確保されたこと、また、沿道の病院、商業施設の利用の利便性が高まったこと。
- 地域住民から歩道設置により、沿道の生活環境は整備前の危険な状況から大幅に改善したため、高い評価を受けていること。

《審議上の意見》

- 早期の広報と情報収集に努めた結果、沿道の開発計画と合せた歩道整備が実現した。
- 同種事業などの新規事業計画時に今回の事例を活用されたい。

(4) 抽出以外の箇所

抽出以外の7箇所については、第1回長野県公共事業評価監視委員会において、県からの説明を聞く中で、事業効果の発現状況、事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化、施設の維持管理状況、地域住民等の評価等から各事業の県の事後評価案について妥当と判断した。

4 おわりに

本年度の事後評価は、第1回の委員会において、県から意見を求められた10箇所のうち、本委員会が抽出した3箇所について詳細な審議を行った。

今回の事後評価において本委員会の意見は上記のとおりである。

事業の経過については様々であったが、県からの説明により、事業効果の発現状況や地域振興への貢献を理解でき、県案について妥当と判断したところである。

また、本委員会が提案し、今年度構築した事後評価等を新規評価に反映させる仕組みを来年度から本格的に実施することとした。事後評価に関して、PDCAサイクルを更に充実させるため、「今後の取り組み及び同種業種への活用と課題」欄の記載内容については、より具体的な内容とされたい。

以上